ダイワ／フィデリティ 北米株式ファンド －パラダイムシフト－

運用報告書（全体版）
第６期

（決算日　2019年３月18日）

（作成対象期間　2018年３月20日～2019年３月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国経済変革の恩恵を受ける北米の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年３月19日～2023年３月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ．ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号

お問い合わせ先（コールセンター）

ＴＥＬ　０１２０－１０６２１２

（営業日の９：00～17：00）

https://www.daiwa-am.co.jp/

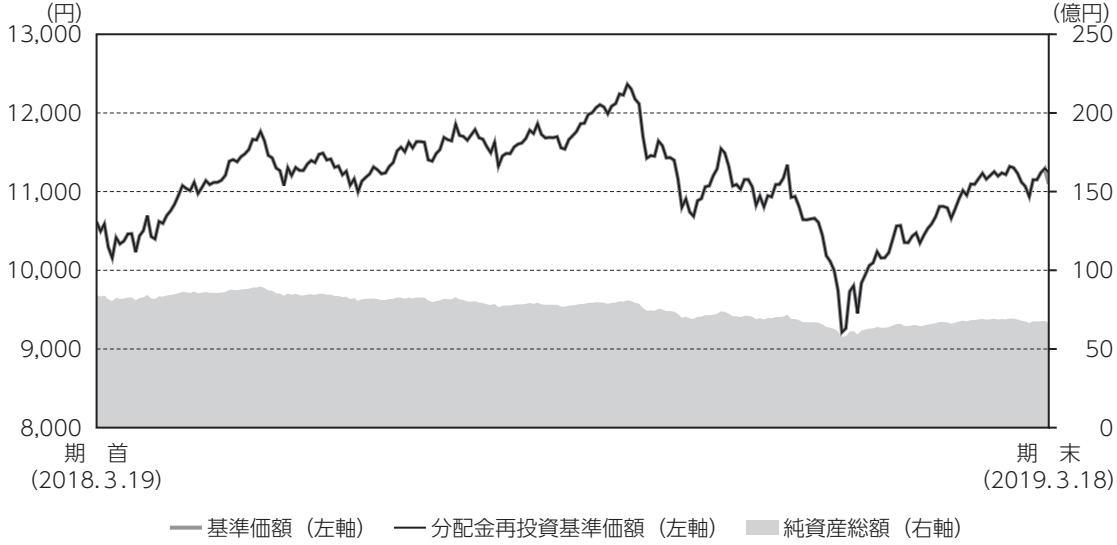
最近５期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
2期末（2015年3月18日）	11,639	600	10.7	98.7	0.1	27,800
3期末（2016年3月18日）	10,138	0	△12.9	99.0	0.0	17,204
4期末（2017年3月21日）	11,011	800	16.5	96.9	0.0	12,458
5期末（2018年3月19日）	10,615	0	△ 3.6	99.4	－	8,422
6期末（2019年3月18日）	11,098	150	6.0	99.5	－	6,647

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注３）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注４）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：10,615円
期　末：11,098円（分配金150円）
騰落率：6.0%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、保有する公益事業関連の銘柄が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年　月　日	基準価額		投資信託証券組入比率	公社債組入比率
		騰落率		
	円	%	%	%
（期首）2018年３月19日	10,615	－	99.4	－
３月末	10,461	△ 1.5	99.5	－
４月末	11,140	4.9	99.5	－
５月末	11,304	6.5	99.6	－
６月末	11,224	5.7	99.7	－
７月末	11,645	9.7	99.5	－
８月末	11,727	10.5	99.5	－
９月末	12,087	13.9	99.5	－
10月末	10,885	2.5	99.4	－
11月末	11,092	4.5	99.5	－
12月末	9,802	△ 7.7	99.1	－
2019年１月末	10,532	△ 0.8	99.5	－
２月末	11,238	5.9	99.5	－
（期末）2019年３月18日	11,248	6.0	99.5	－

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　(2018.3.20～2019.3.18)

■北米株式市況

北米株式市場は上昇しました。

北米株式市況は、当作成期首より、好調な企業業績や米中貿易摩擦が収束に向かうとの期待感が投資家心理の改善につながったほか、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が、利上げサイクルの早期終了の可能性を示唆したことやバランスシート圧縮に向け柔軟な手法を取ると表明したことが市場のサポート材料となり、上昇しました。一方、経済成長と金利上昇に対する懸念の高まりを受けて、2018年末にかけての相場は一時大きく下落しました。また、12月下旬から2019年１月下旬まで続いた史上最長となる米国政府機関の閉鎖も、投資家心理を圧迫しました。

■為替相場

米ドル円相場は上昇しました。

2018年は米中貿易摩擦に対する懸念の高まりなどが円高圧力として働いたものの、日米金利差の拡大傾向などを受けて、12月中旬ごろまでおおむね円安基調で推移しました。12月下旬から2019年の初めにかけては、世界経済への懸念の高まりを背景に株式市場が急落したことなどを受け、安全通貨とされる円が買われる展開となり、米ドル円も一時急落しました。しかしその後、相場は反発の動きを見せ、当作成期末にかけては円安の動きが継続しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

※フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ：フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）

■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

当ファンドでは、折々の局面で恩恵を受ける産業・企業を的確に把握し、個々の企業を丹念に調査し選別することにより、収益機会を追求してまいります。また当ファンドは、エネルギー関連銘柄の組入比率が高く、原油価格の動向に左右される側面もありますが、過度な影響を受けないように配慮したポートフォリオ構築を行っています。引き続き、エネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況などに留意しながら、徹底したボトムアップによる企業調査に基づき、中長期的にシェール革命の恩恵を受け成長することが期待される銘柄を厳選し、投資をしてまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて　(2018.3.20～2019.3.18)

■当ファンド

当ファンドは、フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズとダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券を高位に組み入れました。

■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

シェール革命の経済波及効果から期待される米国経済の変革に着目し、マクロ経済や産業セクターの分析と、個別企業の成長性や財務内容等の調査・分析を活用した「ボトムアップ・アプローチ」に基づく個別銘柄の選別を行いました。当作成期末の組入上位業種は、資本財・サービス、エネルギー、公益事業でした。個別銘柄では、シェブロン（エネルギー）、ネクステラ・エナジー（公益事業）、コノコフィリップス（エネルギー）、などが組入上位でした。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		当期 2018年３月20日 ～2019年３月18日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**150**
対基準価額比率	(%)	1.33
当期の収益	(円)	150
当期の収益以外	(円)	－
翌期繰越分配対象額	(円)	1,098

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	230.79
(c) 収益調整金		593.01
(d) 分配準備積立金		424.49
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)		1,248.30
(f) 分配金		150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)		1,098.30

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

当ファンドでは、折々の局面で恩恵を受ける産業・企業を的確に把握し、個々の企業を丹念に調査し選別することにより、収益機会を追究してまいります。引き続き、エネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況などに留意しながら、徹底したボトムアップによる企業調査に基づき、中長期的にシェール革命の恩恵を受け成長することが期待される銘柄を厳選し、投資をしてまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

項　　目	当期 (2018.3.20～2019.3.18)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	135円	1.212%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11,137円です。**
（投　信　会　社）	(42)	(0.377)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(90)	(0.808)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　銀　行）	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	―	―	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	136	1.220	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2018年３月20日から2019年３月18日まで）

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国内	フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）	－	－	1,589,032.751	2,362,000

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2018年３月20日から2019年３月18日まで）

決算期	当期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,030	350	34.0	－	－	－
コール・ローン	18,076,358	－	－	－	－	－
現先取引（その他有価証券）	243,999	－	－	243,999	－	－

（注）平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払い比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券			
フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）	4,442,152.798	6,617,919	99.5

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9,853	9,853	10,029

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年３月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	6,617,919	96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	10,029	0.1
コール・ローン等、その他	222,622	3.3
投資信託財産総額	6,850,571	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年３月18日現在

項目	当期末
(A) 資産	**6,850,571,384円**
コール・ローン等	181,622,750
投資信託受益証券(評価額)	6,617,919,238
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	10,029,396
未収入金	41,000,000
(B) 負債	**202,696,988**
未払収益分配金	89,850,439
未払解約金	71,133,255
未払信託報酬	41,437,149
その他未払費用	276,145
(C) 純資産総額(A－B)	**6,647,874,396**
元本	5,990,029,327
次期繰越損益金	657,845,069
(D) 受益権総口数	**5,990,029,327口**
１万口当り基準価額(C／D)	**11,098円**

＊期首における元本額は7,934,404,606円、当作成期間中における追加設定元本額は32,102,032円、同解約元本額は1,976,477,311円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は11,098円です。

■損益の状況

当期　自2018年３月20日　至2019年３月18日

項目	当期
(A) 配当等収益	△ **36,099円**
受取利息	4,811
支払利息	△ 40,910
(B) 有価証券売買損益	**470,587,207**
売買益	606,438,227
売買損	△135,851,020
(C) 信託報酬等	△ **92,658,699**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**377,892,409**
(E) 前期繰越損益金	**14,586,343**
(F) 追加信託差損益金	**355,216,756**
(配当等相当額)	(145,810,693)
(売買損益相当額)	(209,406,063)
(G) 合計(D＋E＋F)	**747,695,508**
(H) 収益分配金	△ **89,850,439**
次期繰越損益金(G＋H)	**657,845,069**
追加信託差損益金	355,216,756
(配当等相当額)	(145,810,693)
(売買損益相当額)	(209,406,063)
分配準備積立金	302,670,337
繰越損益金	△ 42,024

(注１) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注２) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注３) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	138,248,381
(c) 収益調整金	355,216,756
(d) 分配準備積立金	254,272,395
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	747,737,532
(f) 分配金	89,850,439
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	657,887,093
(h) 受益権総口数	5,990,029,327口

収益分配金のお知らせ	
１万口当り分配金	150円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて
・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税５％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド　－パラダイムシフト－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年３月18日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を10ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2018年３月20日から2019年３月18日まで）

買		付	売		付
銘	柄	金　額	銘	柄	金　額
		千円			千円
757 国庫短期証券	2018/8/13	400,002			
801 国庫短期証券	2019/3/18	350,004			
731 国庫短期証券	2018/7/10	280,000			

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年３月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（75,561,727千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年３月18日現在	
	評　価　額	比　率
	千円	%
国内短期社債等	999,998	<1.3>

（注１）＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書　第14期（決算日　2018年12月10日）

（作成対象期間　2017年12月12日～2018年12月10日）

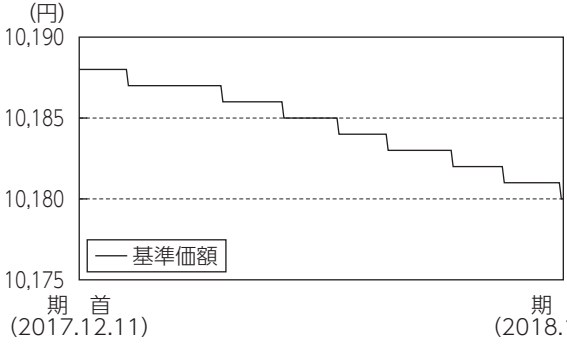
ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	−	−
12月末	10,188	0.0	−
2018年1月末	10,187	△0.0	−
2月末	10,187	△0.0	0.5
3月末	10,186	△0.0	−
4月末	10,186	△0.0	−
5月末	10,185	△0.0	−
6月末	10,184	△0.0	−
7月末	10,184	△0.0	−
8月末	10,183	△0.0	−
9月末	10,182	△0.1	−
10月末	10,181	△0.1	−
11月末	10,181	△0.1	−
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円　期末：10,180円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	1
(その他)	(1)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	890,004	− (890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 (−)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公　社　債

（2017年12月12日から2018年12月10日まで）

当期					
買付			売付		
銘柄		金額	銘柄		金額
		千円			千円
757 国庫短期証券	2018/8/13	400,002			
731 国庫短期証券	2018/7/10	280,000			
723 国庫短期証券	2018/3/5	210,001			

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

（注１）＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0
投資信託財産総額	80,270,040	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	**80,270,040,211円**
コール・ローン等	79,270,042,938
現先取引(その他有価証券)	999,997,273
(B) 負債	**241,522,286**
未払解約金	240,343,000
その他未払費用	1,179,286
(C) 純資産総額(A－B)	**80,028,517,925**
元本	78,610,288,449
次期繰越損益金	1,418,229,476
(D) 受益権総口数	**78,610,288,449口**
1万口当り基準価額(C／D)	**10,180円**

＊期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－　（為替ヘッジあり）977,694円、ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－　（為替ヘッジなし）977,694円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジあり）98,069円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）98,069円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）49,107円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）49,107円、ダイワ／“ＲＩＣＩ®”コモディティ・ファンド5,024,392円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）1,676円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジなし／年１回決算型）1,330円、スマート・アロケーション・Ｄガード53,768,983円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド＜ラップ＞米ドルコース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド＜ラップ＞円コース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド＜ラップ＞世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド　－ハジメの一歩－　327,110,605円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）180,729円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）737,649円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）95,276円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）337,885円、ＤＣダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドラップ　コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドⅡ（適格機関投資家専用）13,743,005,794円、ブルベア・マネー・ポートフォリオⅤ　18,757,636,566円、ブル３倍日本株ポートフォリオⅤ　39,796,042,643円、ベア２倍日本株ポートフォリオⅤ　1,364,716,363円、ダイワＦＥグローバル・バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）22,592円、ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド（Ｄガード付／部分為替ヘッジあり）145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド　－インフラ革命－（為替ヘッジあり）988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド　－インフラ革命－　（為替ヘッジなし）4,926,018円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）米ドルコース285,029円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）日本円コース144,570円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、ＤＣスマート・アロケーション・Ｄガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式＆通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

■損益の状況

当期　自2017年12月12日　至2018年12月10日

項目	当期
(A) 配当等収益	△ **53,286,101円**
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ **8,395,849**
(C) 当期損益金(A＋B)	△ **61,681,950**
(D) 前期繰越損益金	**1,286,098,991**
(E) 解約差損益金	△**4,593,187,480**
(F) 追加信託差損益金	**4,786,999,915**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**1,418,229,476**
次期繰越損益金(G)	**1,418,229,476**

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。
さて、「フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ(適格機関投資家専用)」は、第6期決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

運用報告書
(全体版)

第６期(決算日 2019年２月18日)
計算期間(2018年２月20日～2019年２月18日)

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ(適格機関投資家専用)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年3月21日から2023年3月16日まで
運用方針	●シェール革命の経済波及効果から期待される米国経済の変革に着目し、主に北米(米国およびカナダ)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式(DR(預託証券)を含みます。)を投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。北米以外の金融商品取引所に上場されている株式に投資することもあります。 ●相対的に高い業績拡大および株価の上昇が期待される銘柄を発掘します。 ●アナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトムアップ・アプローチ」を重視します。 ●株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 ●組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ●FILインベストメンツ・インターナショナルに、運用の指図に関する権限を委託します。 ●資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	主に北米(米国およびカナダ)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(原則2月18日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 ●分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

〈お問合せ先〉
フィデリティ投信株式会社　カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号　TRI-SEVEN ROPPONGI
フリーコール 0120-00-8051(無料)
受付時間:営業日の午前9時～午後5時
ホームページ http://www.fidelity.co.jp/fij/
お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

フィデリティ投信株式会社

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率等	株式先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
２期（2015年２月18日）	14,014	0	16.0	98.0	－	30,739
３期（2016年２月18日）	11,330	0	△19.2	99.5	－	16,539
４期（2017年２月20日）	14,648	0	29.3	97.2	－	13,873
５期（2018年２月19日）	13,883	0	△5.2	98.3	－	8,706
６期（2019年２月18日）	14,678	0	5.7	97.5	－	6,805

（注１）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークは設定しておりません。
（注２）株式先物比率＝買建比率－売建比率

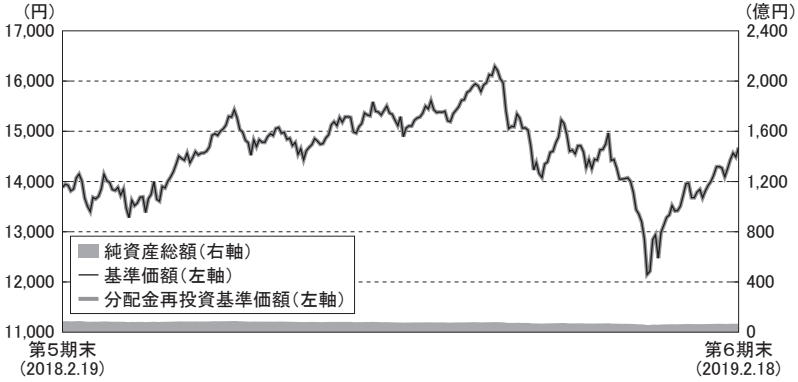
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率等	株式先物比率
		騰落率		
（期　首）	円	%	%	%
2018年２月19日	13,883	－	98.3	－
２月末	14,006	0.9	98.6	－
３月末	13,686	△1.4	99.5	－
４月末	14,593	5.1	99.2	－
５月末	14,825	6.8	97.3	－
６月末	14,735	6.1	98.5	－
７月末	15,307	10.3	98.4	－
８月末	15,431	11.2	98.3	－
９月末	15,923	14.7	97.5	－
10月末	14,348	3.3	95.9	－
11月末	14,637	5.4	96.7	－
12月末	12,936	△6.8	96.4	－
2019年１月末	13,921	0.3	96.8	－
（期　末）				
2019年２月18日	14,678	5.7	97.5	－

（注）騰落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額等の推移



第 6 期 首：13,883円
第 6 期 末：14,678円（既払分配金0円）
騰　落　率：5.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、2018年2月19日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

●基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、＋5.7%でした。
当ファンドが主な投資対象とする業種（エネルギー、資本財・サービス、素材、公益事業）のうち当期は主に公益事業銘柄の値動きがプラスに寄与しました。
個別銘柄で当期の騰落率に寄与した主なものは以下の通りです。
（プラス）
・モザイク
・エクセロン
（マイナス）
・ゼネラル・エレクトリック
・ダウ・デュポン

●投資環境

〇北米株式相場

好調な企業業績が株価を下支えしたことに加え、2019年に入り米中貿易摩擦が解消に向かうとの期待感から投資家心理が改善したことを背景に、当期の米国株式市場は上昇しました。しかしながら、経済成長と金利上昇に対する懸念が高まる中、2018年第４四半期に相場が急落したことにより、市場全体のリターンは押し下げられました。12月下旬から1月下旬まで続いた史上最長となる米国政府機関閉鎖も、全体的に投資家心理を圧迫しました。当期中に発表された各種データには経済が引き続き拡大基調にあることが示されましたが、消費者信頼感は低下傾向にあり、製造関連の数値は強弱混交の様相を呈しています。2019年に入りこれまでのところ、米中間での貿易協定締結に対する期待を背景に、投資家のリスク回避姿勢は後退しています。当期において、米連邦準備制度理事会（FRB）は４度の利上げを実施しました。一方で、FRBが利上げ終了の可能性を示唆したことに加え、バランスシート縮小に向け柔軟な手法を取ると表明したことから市場センチメントは支援されました。業種別では、不動産とディフェンシブ・セクターであるヘルスケアおよび公益事業が主に好調となった一方、素材、金融、およびエネルギーが低迷しました。

〇為替相場

米ドル円為替相場は、軟調に推移しました。ただし期首から1ヵ月は、トランプ米大統領が新たな貿易保護措置を発表したことを機に、米中貿易摩擦の懸念が浮上、円高基調で推移しました。トランプ政権が中国からの輸入品に対する関税を引き上げたことで、投資家のリスク回避姿勢が強まるとともに、円相場が上昇した形です。2018年末にかけても、世界の株式相場が急落したことを受け、安全通貨とされる円が再び買われる展開となりました。欧州の政治リスクも投資家心理を冷やし、円相場を押し上げました。もっとも2018年全体でみると、世界的な貿易摩擦懸念が後退し、世界経済の成長見通しが概ね良好であったことを背景に、円は弱含みでの推移となりました。ただし2018年終盤には投資家のリスク許容度が低下し、世界経済の減速懸念も強まり、期末にかけて円高に振れました。

●ポートフォリオ

当期における業種別組入比率の大きな変更点として、資本財・サービスのエクスポージャーを引き上げた一方、素材およびエネルギーのエクスポージャーを引き下げました。また個別銘柄では、ユナイテッド・テクノロジーズ、ノースロップ・グラマン、ノーフォーク・サザンなどを新たに組み入れました。他方、プラクスエアやモザイクなどの素材銘柄を売却しました。

●ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

■分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目		第6期
		2018年2月20日～2019年2月18日
当期分配金		0
（対基準価額比率）		－%
	当期の収益	－
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		5,155

＊「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
＊当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
＊投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

■今後の運用方針

引き続きエネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況に留意しつつ、確信度の高い独自のファンダメンタルズ調査を包括的に活用することで、長期的に良好なパフォーマンスが期待できるとの考えを堅持しています。独自の調査を行う前提には、企業ファンダメンタルズを把握することでマクロ経済全体の動向の予測よりも高い精度で個別企業の見通しを予想できるとの確信があります。当ファンドは基本的に、ボトムアップによる個別企業調査に基づき、確信度の高い銘柄からポートフォリオを構築しており、投資ユニバースの中で最も有望な投資アイデアを活用していく方針です。

■１万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第6期 2018年2月20日～2019年2月18日		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬	97円	0.667%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,580円です。
（投信会社）	(94)	(0.646)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.002)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価
（受託会社）	(3)	(0.018)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料 （株式）	3 (3)	0.023 (0.023)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税 （株式）	0 (0)	0.000 (0.000)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用	3	0.018	(d)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.009)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
（その他）	(1)	(0.005)	その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。
合計	103	0.708	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注2）「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。
（注3）「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2018年２月20日から2019年２月18日まで）

株　式

	買付		売付	
	株数	金額	株数	金額
外国	百株		百株	
アメリカ	3,489.11 (△111.95)	千アメリカ・ドル 29,578 (△1,076)	7,857.25	千アメリカ・ドル 49,727
カナダ	3,288.49 (△196.8)	千カナダ・ドル 5,839 (△336)	8,286.77	千カナダ・ドル 4,359

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）（　）内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	9,641,636千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,549,823千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.27

（注１）売買高比率は小数点以下２位未満切捨て。
（注２）期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。
（注３）期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。
（注４）外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末(決算日の属する月については決算日)の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■当期中の主要な売買銘柄

●株　式

当期							
買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
UNITED TECHNOLOGIES CORP	17.701	244,493	13,812	UNION PACIFIC CORP	36.204	608,810	16,816
NORTHROP GRUMMAN CORP	6.651	227,464	34,199	UNITED PARCEL SERVICE INC CL B	20.929	260,717	12,457
NORFOLK SOUTHERN CORP	10.966	193,829	17,675	MOSAIC CO NEW	75.106	248,898	3,313
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	9.19	175,651	19,113	LINDE PLC	12.746	230,858	18,112
ROPER TECHNOLOGIES INC	4.913	167,034	33,998	KIRBY CORP	23.511	220,766	9,389
UNION PACIFIC CORP	10.251	166,168	16,209	ECOLAB INC	12.273	202,746	16,519
HUNTINGTON INC W/I	6.217	147,962	23,799	FEDEX CORP	7.975	196,437	24,631
AMERICAN WATER WORKS CO INC	13.611	144,249	10,598	AECOM	47.526	175,158	3,685
HONEYWELL INTL INC	8.429	138,636	16,447	PPL CORPORATION	51.22	175,148	3,419
XPO LOGISTICS INC	16.263	136,560	8,396	CIMAREX ENERGY CO	15.907	166,221	10,449

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2018年２月20日から2019年２月18日まで）

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2019年２月18日現在）

外国株式

上場、登録株式

銘柄	期首（前期末）	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ・・・ＮＡＳＤＡＱ）	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
IHS MARKIT LTD	－	183.01	977	108,068	商業・専門サービス
DIAMONDBACK ENERGY INC	133.86	111.57	1,177	130,112	エネルギー
VIPER ENERGY PARTNERS LP	－	268.41	944	104,408	エネルギー
（アメリカ・・・ニューヨーク証券取引所）					
AGCO CORP	127.57	123.4	799	88,336	資本財
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	－	91.9	1,599	176,841	素材
APACHE CORP	117.51	－	－	－	エネルギー
BALL CORP	－	165.45	895	98,997	素材
CMS ENERGY CORP	316.26	188.57	995	109,996	公益事業
CABOT OIL & GAS CORP	183.53	177.53	447	49,511	エネルギー
CATERPILLAR INC	154.72	104.02	1,416	156,607	資本財
DTE ENERGY COMPANY	131.78	－	－	－	公益事業
ECOLAB INC	122.73	－	－	－	素材
EOG RESOURCES INC	－	93.33	935	103,424	エネルギー
GENERAL ELECTRIC CO	2,352.89	2,010.9	2,028	224,285	資本財
WW GRAINGER INC	43.02	－	－	－	資本財
HALLIBURTON CO	354.63	－	－	－	エネルギー
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	168.75	202.43	1,391	153,772	資本財
KENNAMETAL INC	362.85	－	－	－	資本財
KIRBY CORP	235.11	－	－	－	運輸
MSC INDUSTRIAL DIRECT CO CL A	－	128.81	1,111	122,893	資本財
NISOURCE INC	－	212.2	574	63,520	公益事業
NORFOLK SOUTHERN CORP	－	106.07	1,939	214,414	運輸
NORTHROP GRUMMAN CORP	－	65.38	1,876	207,403	資本財
PRAXAIR INC	157.16	－	－	－	素材
SCOTTS MIRACLE GRO CO CL A	126.9	167.08	1,317	145,665	素材
ANDEAVOR	137.89	－	－	－	エネルギー
UNION PACIFIC CORP	259.53	－	－	－	運輸
UNITED TECHNOLOGIES CORP	－	127.39	1,627	179,907	資本財
EDISON INTERNATIONAL	298.82	245.69	1,486	164,309	公益事業
FEDEX CORP	108.46	28.71	514	56,902	運輸
SEMPRA ENERGY	112.89	－	－	－	公益事業
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	33.61	23.58	342	37,885	エネルギー
UNITED PARCEL SERVICE INC CL B	109.41	－	－	－	運輸
HONEYWELL INTL INC	－	64.15	983	108,721	資本財
DEVON ENERGY CORPORATION	348.03	287.21	816	90,228	エネルギー
PPL CORPORATION	512.2	－	－	－	公益事業
EXELON CORP	563.44	381.84	1,842	203,698	公益事業
AMETEK INC NEW	188.54	139.77	1,104	122,071	資本財
CHEVRON CORP	444.46	332.34	3,966	438,454	エネルギー
CONOCOPHILLIPS	267.57	329.98	2,315	255,988	エネルギー
JOHNSON CONTROLS INTERNATL PLC	117.32	－	－	－	資本財

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）

銘柄		期首（前期末）	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
AECOM		475.26	—	—	—	資本財
NEXTERA ENERGY INC		194.36	134.08	2,467	272,769	公益事業
MARATHON PETROLEUM CORP		133.47	279.04	1,817	200,955	エネルギー
HUNTINGTON INC W/I		—	62.17	1,365	150,983	資本財
EATON CORP PLC		85.82	—	—	—	資本財
XPO LOGISTICS INC		—	162.63	845	93,427	運輸
ALLISON TRANSMISSION HLDGS INC		—	138.35	685	75,808	資本財
NOW INC W/I		578.69	—	—	—	資本財
NEXTERA ENERGY PARTNERS LP		322.74	—	—	—	公益事業
FORTIVE CORP		246.99	118.81	971	107,430	資本財
ASHLAND GLOBAL HOLDINGS INC		99.33	114.59	901	99,636	素材
VALVOLINE INC		281.01	271.82	518	57,359	素材
L3 TECHNOLOGIES INC		36.25	—	—	—	資本財
BAKER HUGHES A GE CO LLC		456.23	438.38	1,132	125,168	エネルギー
DOWDUPONT INC		564.22	352.21	1,910	211,174	素材
NUTRIEN LTD (US)		188.32	—	—	—	素材
AMERICAN WATER WORKS CO INC		—	136.11	1,334	147,522	公益事業
ARMSTRONG WORLD INDUSTIRES INC		—	131.81	918	101,583	資本財
CIMAREX ENERGY CO		159.07	—	—	—	エネルギー
CONCHO RESOURCES INC		142.92	81.37	1,000	110,607	エネルギー
FLOWSERVE CORP		126.46	122.33	584	64,609	資本財
MOSAIC CO NEW		751.06	—	—	—	素材
ROPER TECHNOLOGIES INC		—	49.13	1,532	169,420	資本財
小計	株数、金額	13,433.64	8,953.55	53,418	5,904,887	
	銘柄数〈比率〉	47銘柄	42銘柄	—	〈86.8%〉	
（カナダ・・・トロント）		百株	百株	千カナダ・ドル	千円	
BARRICK GOLD CORP		—	557.72	954	79,736	素材
CANADIAN NATL RAILWAY CO ORD		—	111.18	1,238	103,412	運輸
AGNICO EAGLE MINES LTD (CANA)		130.28	—	—	—	素材
FORTIS INC		—	105.35	490	40,980	公益事業
NEVSUN RESOURCES LTD		2,327.88	—	—	—	素材
SUNCOR ENERGY INC		755.57	584.44	2,622	219,043	エネルギー
NORBORD INC		—	212.37	795	66,435	素材
AFRICA OIL CORP		4,785.47	—	—	—	エネルギー
VALENER INC		—	410.19	917	76,594	公益事業
IVANHOE MINES LTD		—	1,451.62	450	37,579	素材
AIR CANADA VTG		—	391	1,296	108,242	運輸
KINDER MORGAN CANADA LTD		1,019.75	—	—	—	エネルギー
小計	株数、金額	9,018.95	3,823.87	8,765	732,024	
	銘柄数〈比率〉	5銘柄	8銘柄	—	〈10.8%〉	
合計	株数、金額	22,452.59	12,777.42	—	6,636,912	
	銘柄数〈比率〉	52銘柄	50銘柄	—	〈97.5%〉	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注2）〈 〉は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
（注3）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2019年２月18日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	6,636,912	97.0
コール・ローン等、その他	206,190	3.0
投資信託財産総額	6,843,102	100.0

（注１）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、２月18日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝110.54円、１カナダ・ドル＝83.51円です。
（注２）当期末における外貨建資産(6,842,981千円)の投資信託財産総額(6,843,102千円)に対する比率は、100.0%です。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2019年２月18日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	6,880,678,537
コール・ローン等	193,017,214
株式(評価額)	6,636,912,283
未収入金	37,575,921
未収配当金	13,173,119
(B) 負債	75,284,552
未払金	37,609,471
未払解約金	13,999,999
未払信託報酬	23,466,128
その他未払費用	208,954
(C) 純資産総額(A－B)	6,805,393,985
元本	4,636,389,669
次期繰越損益金	2,169,004,316
(D) 受益権総口数	4,636,389,669口
１万口当り基準価額(C／D)	14,678円

（注１）当期における期首元本額6,271,416,769円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額1,635,027,100円です。
（注２）上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期　自2018年２月20日　至2019年２月18日

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	132,361,038
受取配当金	130,192,136
受取利息	2,152,630
その他収益金	16,272
(B) 有価証券売買損益	289,142,748
売買益	992,361,353
売買損	△703,218,605
(C) 信託報酬等	△52,674,305
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	368,829,481
(E) 前期繰越損益金	1,624,504,307
(F) 追加信託差損益金	175,670,528
(配当等相当額)	(143,317,278)
(売買損益相当額)	(32,353,250)
(G) 合計(D＋E＋F)	2,169,004,316
次期繰越損益金(G)	2,169,004,316
追加信託差損益金	175,670,528
(配当等相当額)	(143,317,278)
(売買損益相当額)	(32,353,250)
分配準備積立金	2,214,744,001
繰越損益金	△221,410,213

（注１）(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、純資産総額に対して年0.32%以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
（注５）分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 費用控除後の配当等収益	115,821,306円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円
(c) 収益調整金	175,670,528円
(d) 分配準備積立金	2,098,922,695円
(e) 分配可能額(a＋b＋c＋d)	2,390,414,529円
１万口当たり分配可能額	5,155.77円
(f) 分配金額	0円
１万口当たり分配金額(税引前)	0円